

# ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(平成30年10月分)

平成30年12月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

## 1. 国内情勢

### (1) 国家レベル

#### (2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

イ スルプスカ共和国(RS)

※当該月、ブルチュコ特別区に関する主だったニュースはなし。

## 2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構 (EU加盟プロセスを含む)

(2) 二国間関係

## 3. 経済

(1) 経済政策、国別信用格付、公共事業

(2) 経済協力

※当該月、民間セクターに関する主だったニュースはなし。

(注: 以下は、現地紙など公開情報をとりまとめたものです。)

## 1. 国内情勢

### (1) 国家レベル

#### ● 国政選挙の実施(7日)と暫定結果の発表(22日)

7日、BH国政選挙が実施された。22日に発表された暫定結果によれば、投票率は53.36%。BH大統領評議会選挙では、ボシュニャク系メンバーにジャフェロビッチSDA副党首が、セルビア系メンバーにドディックSNSD党首が、また、クロアチア系メンバーにコムシッチDF党首が当選。RS大統領選では、ツビヤノビッチ現RS首相(SNSD)が当選。なお、SDA(ボシュニャク系)、HDZ(クロアチア系)、SNSD(セルビア系)が国政及びエンティティ議会においてそれぞれの民族の最大政党の地位を

維持した。

暫定結果の発表から3日間の不服申し立て期間、受理・不受理の判断を経て、最終結果は、11月6日までに確定される見通し。

#### ● ドディックRS大統領、大統領評議会メンバー就任後にRS代表としての立場を強く打ち出す方針を表明

10日、ドディックRS大統領は、自分はRSから大統領評議会セルビア系メンバーに選出されたのであり、RS国民議会において宣誓を行うまでは、同評議会メンバーとしてサラエボに向かないと述べ、また11日には、サラエボの大統領府でRS国旗が設置されない会合には一切参加しないと発言し、大統領評議会において、RSの対場を強く打ち出す方針を示

した。

●チョービッチHDZ党首、選挙法の改正を連立参加の条件として提示(15日)

15日、チョービッチ現大統領評議会クロアチア系メンバー(HDZ首兼クロアチア民族評議会(HNS)議長)は、クロアチア系メディアのインタビューに対し、7日の国政選挙において、ボシュニャク系有権者を票田として、自身の得票を上回り、コムシッチDF党首が大統領評議会クロアチア系メンバーに当選したことに関し、右の再発を防止するための選挙法の改正がHDZ及びHNS傘下の政党が組閣に参加する条件である旨述べた。

●中央選管、BH連邦議会上院議員の選出配分に関し決定を下す用意があると発表(19日)

19日、中央選挙管理委員会は記者会見を行い、違憲判決により選挙法から削除されたBH連邦議会上院議員の選出配分に関する条項をめぐって、同法の他の条項に基づき中央選管が同配分に関する決定を行う用意があると発表した。

(2)エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●クロアチア系多数派地域におけるコムシッチ大統領評議会クロアチア系メンバーの当選に対する反発

コムシッチDF党首が、ボシュニャク系有権者を票田として、チョービッチHDZ党首に大差をつけて、大統領評議会クロアチア系メンバーに当選したことに対し、10月半ばにBH内のクロアチア系多数派地域において、共同でコムシッチをペルソナ・ノングラータに宣言する動

きが、また、モスタルにおいては、学生が主催する大規模な抗議デモが発生した。

●サラエボ・カントン等におけるSDA外しの動き

19日、SDP、DF及びNS(我々の党)の中道左派3政党が会合を行い、サラエボ・カントンにおける民族主義政党SDAを外した与党連立について協議を開始した。同様の動きが他のカントンでも発生しており、SDAは国政・エンティティにおいては最大政党の座を維持した一方で、カントン・レベルにおいては、ボシュニャク系が多数派を占める全5カントンで下野の可能性が出てきている。

●ビハチにおいて移民・難民問題のデモや衝突が発生し、BH当局は対応を強化

20日、BH最西端に位置し、クロアチアとの国境に隣接するために移民・難民が大量に滞留しているビハチ市において、市民による、移民・難民の同カントンへの流入阻止を要求する大規模デモが発生。一方滞留する移民・難民も不満を募らせており、22日には、一部の移民・難民とカントン警察の間で小競り合いが発生。これを機に、23日、同カントン内務省はこれ以上の移民等の受け入れを拒否する決定を行い、25日には、BH当局が、移民等の国内移動の制限を導入することを決定した。

イ スルブスカ共和国(RS)

●ドディックSNSD党首、連立与党第二党のDNSに圧力

10日、ドディックRS大統領票兼SNSD党首は記者会見を開き、RS連立与党第二党のDNSが擁立を表明していた次期RS首相はSNSDから指名する旨発表した。また、22日、R

S政府会合においてツビヤノビッチRS首相(S NSD)がマレシェビッチRS教育相(DNS)を解任する等、SNSDはDNSに帯する圧力を強めている。

## 2. 外政

### (1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

#### ●BH、欧州委員会からの追加質問に対する回答期限内に提出できず(4日)

4日、欧州委員会の報道官がTV番組のインタビューに対し、6月にBHに送付した655問の追加質問に対する回答の期限は10月1日までであったが、未だ回答を受領していない旨述べた。

### (2) 二国間関係

#### ●ダチッチ・セルビア外相のRS訪問(2日)

2日、ダチッチ・セルビア外相は、7日の国政選挙を目前に完成したバニャ・ルーカ=ドボイ間高速道路の最終区間の開通セレモニーに参加。欧米諸国によるRS選挙への干渉を批判したブチッチ・セルビア大統領の発言に言及し、「RSを破壊しようとする行為にセルビアは黙っていない」と発言した。

#### ●ブチッチ・セルビア大統領RS訪問を中止(5日)

国政選挙に向けた選挙キャンペーン最終日である5日、ドディックRS大統領と共に東サラエボにおけるセルビア支援による病院の開所式に参加する予定となっていたブチッチ・セルビア大統領が、急遽BH訪問を中止。これは訪問中の同大統領への危害の恐れを理由とした、ドディック大統領による要請を受けたものとされ、ブチッチ大統領は遺憾を表明すると

共に、セルビアとRSの結束を改めて強調した。

#### ●プレンコビッチ・クロアチア首相のモスタル訪問(4日)

4日、プレンコビッチ・クロアチア首相はモスタルを訪問し、チョービッチHDZ党首と会談を行った他、「クロアチア民族評議会(HNS)」のラリーに参加し、7日の国政選挙への投票及びチョービッチ大統領評議会クロアチア系メンバー候補への投票を訴えた。

#### ●プレンコビッチ・クロアチア首相等、コムシッチ大統領評議会クロアチア系メンバーの当選を欧州各地で非難

18日、プレンコビッチ・クロアチア首相は、ブリュッセルで行われたEU首脳会議において、BH大統領評議会クロアチア系メンバーがボシュニャク系有権者を票田として選出されたことを非難し、介入が必要である旨発言。かかるクロアチア側の動きに対し、ズビズディッチBH閣僚評議会議長(ボシュニャク系)や当選したコムシッチ・メンバーは、内政干渉であるとして非難する反論書簡をタヤーニ欧州議会議長、トウスク欧州理事会議長及びユンカー欧州委員会委員長等に対し発出した。

## 3. 経済

### (1) 経済政策、国別信用格付、公共事業

#### ●スタンダード・アンド・プアー社、BHの格付けは据え置き(B(安定的))

国際的信用格付け会社スタンダード・アンド・プアー社の9月の発表によれば、BHの格付けは据え置き(B(安定的))。

●BH、2018年のEU及び周辺諸国向けの輸出額に伸び

BH統計庁によれば、2018年1月～9月のBHの輸出額は、約88億KM(約45億ユーロ)で、昨年同時期に比べ8.8%の増加。輸入額は、約143億KM(約73億ユーロ)で、昨年同時期に比べ、6.9%増加した。なお、中欧自由貿易協定(CEFTA)加盟国向けでは、輸出8%、輸入1.6%の増加。EU向けでは、輸出11.3%、輸入5.4%の増加。貿易赤字は継続しているものの、減少傾向にある。

●BHの第二四半期対GDP政府総債務残高は36.3%

欧州委員会によれば、2018年第二四半期時点の、BHの対GDP政府総債務残高は、36.3%。西バルカン諸国と比べると、コソボ、16%に次いで低い。一番高いクロアチアは、76.1%。

●BHの購買力はEU平均の3分の1

EUROSTATによれば、2017年のBHにおける購買力はEU平均の32%に留まった。西バルカン諸国と比べると、BHを下回るのはアルバニアのみで30%。セルビアは37%、クロアチアは61%。BH当局によれば、BHの購買力は低いながらも2006年の28%から順調な伸びを見せており、2017年は25億KM(約13億ユーロ)以上に上った海外からの送金が購買力の成長に重要な役割を果たしている。

●BH連邦、EBRDとの間に「Vc回廊」第3区間向け融資契約を締結(2日)

2日、チャバラBH連邦大統領は、欧州復興

開発銀行(EBRD)との間で、「Vc回廊」第三区間向け1億8,000万ユーロの融資契約を締結した。右は、約2kmのトンネルと約14kmの道路建設に充てられる。

●RS政府、中国“山東”社と高速道路のコンセッション契約を合意(3日)

3日、RS政府は、中国山東高速集团有限公司の子会社である中国山東国際経済技術合作集团有限公司との間で、バニャ・ルーカ=プリエドル間の高速道路の設計、建設、運営に関するコンセッション契約に関して最終合意に至った。右契約期間は33年、建設は5年で完了の見通し。投資総額は約3億ユーロで、同社は一時金約450万ユーロに加え、毎年高速道路利用料金収入の5%をRS公営公社に支払う。正式契約は、一時金支払後に実施される。

●BH、2018年のGDP成長率は3.2%(9日)

9日、IMFはBHの2018年のGDP成長率は、これまでの予測の通り3.2%となる見込みである旨発表した。なお、昨年2017年の成長率は3%で、2019年は3.5%と予測されている。

(2)経済協力

●EU、洪水対策に75万ユーロの追加供与を決定

8日付け当地紙によれば、EUは、西バルカン投資基金(WBIF)を通し、第3期BH洪水対策プロジェクトに75万ユーロを追加で供与することを決定した。右プロジェクトにより、これまでに30市町村において70万人の住民が裨益している。

●ドイツ、不法武器輸出対策に25万ユーロを  
拠出(25日)

25日、駐BHドイツ大使は、UNDP代表との間で、2019－2021年のBHにおける不法武器輸出対策(CIAT)プログラムに対する25万ユーロの供与に関する署名を行った。右資金は、400名のBH国境警察官の訓練に充当される。ドイツはこれまでも、CIATプログラムを通して1,500名の警察官の訓練を行ってきた。

(了)